

完了後の評価個表

整理番号 | 森4-1

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	神奈川県
地区名	山北町	事業実施主体	神奈川県、山北町
関係市町村	山北町	管理主体	神奈川県、山北町、山北町森林組合、(社)かながわ森林づくり公社、個人
事業実施期間	H15~H19(5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 山北町は神奈川県西部に位置し、南北20.5km、東西23.0kmで、22,470haと広大な面積を有している。</p> <p>② 森林の状況 本町の森林面積は、20,239haで町の総面積の約90%を占めている。計画の対象となる民有林は13,777ha、民有林における人工林面積は4,416haとなっており、県内人工林の14%に達しているが、人工林率については32%と県平均の39%を下回っている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当山北町の人工林造林活動は、他地域よりやや遅れて昭和20年代後半から急激に進められ、伐期を迎えるⅧ齢級からⅩ齢級に集中(63%)している。林業経営の基盤となる林道は69,904m開設されているが、路網密度については5.1m/haにすぎず、林道網の整備は極めて立ち遅れている。 町内の森林は、人件費をはじめとする経営コストの増加、安価な外材の大量輸入や代替材の進出による木材価格の低迷、林業労働力の高齢化などにより、木材生産活動は年々停滞しつつある。 このため、山北町森林整備計画及び山北町森林整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進する必要がある。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽3.37ha、下刈140.70ha、除・間伐925.81ha、受光伐5.81ha 枝打等217.59ha</p> <p>森林管理道整備</p> <table border="0"> <tr> <td>① 八丁神縄線</td> <td>車道幅員 4.00m</td> <td>開設延長 2,016m</td> <td>利用区域面積 375ha</td> </tr> <tr> <td>② 不老山線</td> <td>車道幅員 3.00m</td> <td>改良延長 112m</td> <td>利用区域面積 253ha</td> </tr> <tr> <td>③ 世附線</td> <td>車道幅員 5.00m</td> <td>改良延長 75m</td> <td>利用区域面積 231ha</td> </tr> <tr> <td>④ 秦野峠線</td> <td>車道幅員 5.00m</td> <td>改良延長 123m</td> <td>利用区域面積 1,150ha</td> </tr> </table> <p>総事業費 1,411,302千円 (当初総事業費 1,546,612千円)</p>	① 八丁神縄線	車道幅員 4.00m	開設延長 2,016m	利用区域面積 375ha	② 不老山線	車道幅員 3.00m	改良延長 112m	利用区域面積 253ha	③ 世附線	車道幅員 5.00m	改良延長 75m	利用区域面積 231ha	④ 秦野峠線	車道幅員 5.00m	改良延長 123m	利用区域面積 1,150ha
① 八丁神縄線	車道幅員 4.00m	開設延長 2,016m	利用区域面積 375ha														
② 不老山線	車道幅員 3.00m	改良延長 112m	利用区域面積 253ha														
③ 世附線	車道幅員 5.00m	改良延長 75m	利用区域面積 231ha														
④ 秦野峠線	車道幅員 5.00m	改良延長 123m	利用区域面積 1,150ha														

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 森林整備の事業量が当初計画に対し減少したことから総便益が減少した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>8,299,977千円</td> <td>(事業採択時 16,982,412千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>2,554,974千円</td> <td>(事業採択時 2,799,957千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>3.25</td> <td>(事業採択時 6.07)</td> </tr> </table>	総便益(B)	8,299,977千円	(事業採択時 16,982,412千円)	総費用(C)	2,554,974千円	(事業採択時 2,799,957千円)	分析結果(B/C)	3.25	(事業採択時 6.07)
総便益(B)	8,299,977千円	(事業採択時 16,982,412千円)								
総費用(C)	2,554,974千円	(事業採択時 2,799,957千円)								
分析結果(B/C)	3.25	(事業採択時 6.07)								

② 事業効果の発現状況	<p>本事業で植栽されたスギ・ヒノキや樹下植栽された広葉樹の成長は良好で、間伐等を行った箇所とともに多様な環境を持つ健全な広葉樹林として育成されており、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備された。 林道が整備された区域においては、森林整備の効率化、木材生産の低コスト化が図られた。</p>
-------------	--

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により開設された林道は、神奈川県が管理者となって、県が定めた林道管理基準に基づき管理されている。 年1回程度の草刈や側溝掃除等が行われており、維持管理状況はおおむね良好である。</p>
---------------------	--

④ 事業実施による環境の変化	<p>除伐及び間伐等が実施された森林は、林内に日光が差し込むことで明るく健全の林分に改善され、森林の景観が向上してきている。 林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
----------------	--

<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>材価の下落や林業労働従事者の高齢化等による担い手不足などもあり、林業経営は低迷しているが、当地域の森林では、公益的機能の高い森林づくりを目指した水源の森林づくり事業（県事業）を始めとする森林整備が活発に行なわれている。こうした中で、当事業で整備された林道は、通勤時間の短縮や林業機械の搬出入等作業効率の向上に資するものとなっており、森林の適正な整備及び保全を効率的に進めるための基盤として活用されている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>利用期を向かえつつある森林資源を活用し、持続的な森林経営を実現していく必要があるが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林施業の集約化や路網整備を通じて低コスト化を図り、計画的な森林整備を一層推進する必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山北町は町の総面積の約90%が森林面積であり、手入れが必要な人工林も多いことから、適切な森林整備が求められており、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備及び林道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれていること。 林道が災害時の迂回路としても機能していること。 森林整備により森林の多面的機能が十分に発揮されている。 以上のことから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:神奈川県

地域(地区)名:山北町^{やまきたまち}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,644,406	
	流域貯水便益	444,002	
	水質浄化便益	925,376	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,800,781	
	土砂崩壊防止便益	231,343	
環境保全便益	炭素固定便益	588,461	
木材生産等便益	木材利用増進便益	27,364	
	木材生産確保・増進便益	1,481,764	
森林整備経費縮減等便益	治山経費縮減便益	144,329	
	森林整備促進便益	983,290	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	21,925	
維持管理費縮減便益		6,936	
総 便 益 (B)		8,299,977	
総 費 用 (C)		2,554,974	
費用便益比	$B \div C = \frac{8,299,977}{2,554,974} = 3.25$		

市町村森林整備事業計画
 施行計画位置図 S=1:50,000
 市町村名 山北町

凡例		
事業種	作業種	
育成単層林整備	人工造林	● (赤)
	下刈	● (オレンジ)
	除伐・間伐	● (緑)
	その他	● (黄緑)
育成複層林整備	● (黄)	
機能増進保育	抜き伐り等	● (青)
緊急間伐団地		● (水色)
生態保存型水土保持林		■ (水色)
資源循環型水土保持林		■ (黄緑)
既設林道		— (実線)
林道計画路線		— (点線)
作業路		— (細実線)

